

NIIGATA A・Philharmonic

新潟A・フィルハーモニック

第5回定期演奏会

2026
6/27 14:30
13:50 OPEN
Sat.

りゅーとぴあ
新潟市民芸術文化会館
コンサートホール
新潟市中央区一番堀通町3-2

～坂口安吾生誕120周年に捧ぐ～

エリック・サティ
ジムノペディ ドビュッシー版 第1番

モーツァルト
「皇帝ティートの慈悲」K621 序曲

R・シュトラウス
オーボエ協奏曲

ベートーヴェン
交響曲 第4番



一般 5,000円 高校生以下 1,500円

〈全席指定〉 ※未就学児入場不可

〈主催〉 いがた音楽アーティスト協議会 :080-8712-7805
info@niigata-artist.jp / <https://www.niigata-artist.jp>

〈共催〉 新潟市

〈後援〉 新潟県、新潟市教育委員会、公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団、
新潟日报社、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、
UX新潟テレビ21

〈プレイガイド〉

りゅーとぴあ (インフォメーション) 025-224-5622

インフォメーションセンターえん

e+ イープラス eplus.jp/Famiポート

Confetti (カンフェティ)

<http://confetti-web.com/@/niigataA4>



ソロ・コンサートマスター
渡辺 美穂



ソロ
大森 悠

message

ついに第5回定期を迎えることとなった新潟フィル。今回も私たちは指揮者を置かないスタイルで演奏します。指揮者がいれば、当然指揮者が音楽のアイデアを提案しプレイヤーはそれを汲み取って自分のものにして演奏するわけですが、指揮者なしでシンフォニーまで演奏してしまうというのは我々奏者にとってとても大きな挑戦です。奏者一人ひとりがアイデアを持ち、作品の本質に近づいていく。いつだって同じ演奏など一つもないのですが、指揮なしで今回の様なプログラムに取り組むと、本番のステージでは一層特別な瞬間に出会えるのではと我々自身も楽しみにしています。

モーツァルトの歌劇《皇帝ティートの慈悲》序曲で演奏会の幕が開けた後に続くのは、リヒャルト・シュトラウスのオーボエ協奏曲。まるで春の風を吸い込んだ様な気持ちになるこの作品は、驚くことにシュトラウスの晩年に書かれた作品です。若い頃にはあれほど華やかでドラマティックな作品を数々残したシュトラウスが晩年に憧れた音楽は、純粋な喜びに満ちたものでした。

後半はベートーヴェンの交響曲第4番。演奏機会の多い3番と5番に挟まれながらも、この4番には湧き上がる生命力が満ちています。静謐な序奏から一気に開かれる第1楽章、美しい主題とそれを変奏させるベートーヴェンの真骨頂が見られる第2楽章、そして推進力にあふれる終楽章へと、音楽は展開していきます。

それぞれの作品の本質に迫り鮮やかにお届けすることができれば幸いです。会場で、このプログラムをお客様と共有できることを楽しみにしています。ぜひ足をお運びください！

ソロ・コンサートマスター 渡辺美穂

member



渡辺美穂 (ソロ・コンサートマスター)

名古屋出身。3歳よりヴァイオリンを始め、林茂子、久保田良作、ゲルハルト・ボッセ、ジェラルド・ブーレ、澤和樹に師事。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に進学し、2年の時に第53回全日本学生音楽コンクール(1999年)に高校生の部バイオリン部門全国大会で1位を獲得し、コンクール諮問委員より、「素質の良さが将来に大きな期待を抱かせる」、「音色の感性も良いすべての面において高い能力を持つ」と評価を受ける。東京芸術大学を卒業。卒業時には「アカンサス音楽賞」を受賞し、東京芸術大学大学院へ進学する。2006年には大学院在学中に東京フィルハーモニー交響楽団へ入団。若手実力派バイオリニストとして注目を集めた。2012年9月1日から大阪フィルハーモニー交響楽団に入団、コンサートマスターに就任した。現在は、東京フィル、東京シティフィル、読響をはじめ各オーケストラからゲストコンサートマスターとして招かれている。また東京オーケストラMIRAI、横浜シンフォニエッタではコンサートマスターを務める。飛騨高山ヴィルトゥオーゾオーケストラメンバー。



大森 悠 (オーボエ)

都立西高校管弦楽部でオーボエを始める。東京大学に進学、東京大学音楽部管弦楽団に所属。卒業後はプロ奏者として活動を始め、ドイツ留学を経て、セントラル愛知交響楽団、大阪交響楽団に首席奏者として在籍。現在は大阪フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を務めている。これまでに池田肇、井口博之、オットー・ヴィンターの各氏に師事。



「新潟A・フィルハーモニック(仮称)」は、2022年、新潟にゆかりある演奏家が集結し編成されたオーケストラ。毎回開催される定期演奏会では演奏者の熱い思いと息にあった演奏が多くの人々の心に響いて、新潟の未来への新しいメッセージと評され、地元の人々から厚い支援と期待が広がっている。活動開始から、特に教育事業に積極的に取り組み、次世代を担う子どもたちのための音楽鑑賞事業やワークショップなど、巡回事業として活動を広げている。今後も規模を拡大し、常に進化したステージを創り上げ、地域の人々に密着した音楽活動を目指す。

〈国際湿地都市NIIGATA〉本公演共催の新潟市はコハクチョウの越冬数全国1位で、湯・河川・水田など豊かな自然環境を有しています。そうした環境の保全や利活用、環境教育など様々な取り組みが国際的に評価され、新潟市は国内初の「ラムサール条約湿地都市認証」を受けました。

〈坂口安吾生誕祭120〉令和8年は文豪・坂口安吾生誕120年のメモリアルイヤーで、様々な事業が連携して生誕祭を盛り上げています。本公演では、安吾がこよなく愛したフランス音楽からサティの一曲を演奏します。ご期待ください。